

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I・教授
氏名 Name	岸田文隆
専門分野 Academic Field	朝鮮語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	江戸・明治期日朝往復ハンゲル書簡類データベースの構築
--	----------------------------

本研究においては、江戸中期から明治初期にかけて分布している日朝往復ハンゲル書簡類を網羅的に収集し、翻刻・和訳・文献言語学的考察を付したデータベースを構築する。日朝往復ハンゲル書簡類は、従来公開がなされていなかったため、また、各地に断片的に伝わっていたため等の理由により、その全貌を把握することが困難であったが、近年の資料公開の機運に乘じ、網羅的な調査・分析を企図するものである。このデータベースは、朝鮮語史のみならず、日朝関係史などの研究にも有用な情報を提供するものと考えられるが、データベース構築の暁には広く研究者一般が利用できるように、ウェブにオープンアクセス形式で公開する計画である。

今年度は、未入手資料の調査・収集につとめ、岡山県立記録資料館に所蔵される花房端連・義質関係資料中に浦瀬裕のハンゲル書簡[請求番号: A00005-000440]があることを発見した。また、今までに調査・収集した日朝往復ハンゲル書簡類の一覧表を作成し、それらが 18 世紀中葉以降に分布していることを確認したうえで、そのような現象が生じた背景には、朝鮮司訳院の倭学訳官らの日本語能力の喪失と、日本側の朝鮮語通詞等のハンゲル能力の獲得と漢文能力の欠如という要因があったとの推測をおこなった(岸田文隆(2018)「江戸時代日朝往復ハンゲル文書の分布」『比較日本学』43(韓国漢陽大学校日本学国際比較研究所)。さらに、8 年前より実施してきた対馬歴史民俗資料館所蔵対馬宗家文書ハンゲル書簡類についての共同研究の成果を集大成し、写真・翻刻・和訳・解説付きの研究書を刊行した(松原孝俊・岸田文隆・北川英一・許秀美・金京美・金周弼・金徳珍・金東哲・権洙用・黄文煥・小西敏夫・酒井裕美・酒井雅代・趙垺熙・鄭丞恵・中野等・藤川貴仁・古川祐貴・朴真完・山口華代・横山恭子・四辻義仁・梁興淑(2018)『朝鮮通信使易地聘礼交渉の舞台裏—対馬宗家文庫ハンゲル書簡から読み解く』(九州大学韓国研究センター叢書 3)九州大学出版会)。